

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和元年5月13日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 碧南市汐田町2-26	
氏 名 井上メッキ工業(株)	
代表取締役会長 井上雅弘	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0566-41-1111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	井上メッキ工業株式会社
事業場の所在地	碧南市汐田町2-26
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	24・18
② 事業の規模	売上高：50億円
③ 従業員数	234人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	特定有害廃酸→中間処理業者に委託して、還元処理、中和、脱水後埋立処分 特定有害アルカリ・特定有害汚泥→一部社内にて酸化処理。残りは中間処理業者に委託して、高温熱分解処理後埋立処分 腐食性廃酸→一部社内にてp h調整（一般産業廃棄物）中間処理業者に委託して、中和、脱水後埋立処分。残りの特別産業廃棄物→中間処理業者に委託して中和、脱水後埋立処分。 腐食性アルカリ→一部社内にてp h調整（一般産業廃棄物）→中間処理業者に委託して焼却処分。残りの特別産業廃棄物→中間処理業者に委託して焼却処分。

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 総括責任者：社長 環境管理委員会 特別管理産業廃棄物管理責任者： 産業廃棄物処理施設技術管理者：品証部部长 産業廃棄物処理責任者：品質課長			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 30年度）実績】 別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	排 出 量	108.16 t	30.43 t
	(これまでに実施した取組) 脱脂剤（腐食性アルカリ）の低濃度化や寿命の長い物に変更。		
② 計画	【目標】別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	排 出 量	130 t	40 t
	(今後実施する予定の取組) 長寿命の脱脂剤への変更の推進。		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) すべて分別が出来ている		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の継続		

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】 別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 再生利用は行っていない。		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】 別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 腐食性廃アルカリのp h調整で一般産業廃棄物化。 腐食性廃酸のp h調整で一般産業廃棄物化。		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 腐食性廃アルカリと腐食性廃酸のp h調整で特別産業廃棄物の減量を継続。		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】 別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	全処理委託量	108.16 t	30.43 t
	優良認定処理業者への処理委託量	108.16 t	30.43 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者に委託を推進。		

② 計画	【目標】別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
	全 処 理 委 託 量	1 2 0 t	3 0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1 2 0 t	3 0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 継続して優良認定処理業者に委託		
電子情報処理組織の 使用に関する事項	【前年度（平成30年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 （ポリ塩化ビフェニ ル廃棄物を除く。）	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
※事務処理欄			

(第 6 面)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 3 0 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	特定有害廃アルカリ
	排 出 量	0 . 9 3 t	0 . 7 4 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	特定有害廃アルカリ
	排 出 量	1 . 0 t	5 . 0 t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） すべて分別が出来ている。		
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別の継続。		

(第7面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃	特定有害廃アルカリ
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	特定有害廃アルカリ
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	特定有害廃アルカリ
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特定有害廃アルカリの酸化処理		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	特定有害廃アルカリ
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特定有害廃アルカリ・・・分解処理の実施		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	特定有害廃アルカリ
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	特定有害廃アルカリ
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施していない。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	特定有害廃アルカリ
	全処理委託量	0.93 t	0.74 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.93 t	0.74 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者に委託を推進		

② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	特定有害廃アルカリ
	全 処 理 委 託 量	1 . 0 t	5 . 0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1 . 0 t	5 . 0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 継続して優良認定処理業者に委託		
電子情報処理組織の 使用に関する事項	【前年度（平成30年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 （ ポリ 塩 化 ビ フ ェ ニ ル 廃 棄 物 を 除 く 。 ）	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
※事務処理欄			

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 3 0 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	
	排 出 量	1 . 5 6 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	
	排 出 量	2 . 0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 無し		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) すべて分別が出来ている。		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の継続。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 3 0 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 3 0 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 廃シアン液の中間処理を推進		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 分解処理の継続。		

(第 1 2 面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 3 0 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 っ た 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 3 0 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	
	全 処 理 委 託 量	1 . 5 6 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1 . 5 6 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者に委託を推進		

② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	
	全 処 理 委 託 量	2 . 0 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2 . 0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 継続して優良認定処理業者に委託		
電子情報処理組織の 使用に関する事項	【前年度（平成30年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 （ ポリ塩化ビフェニ ル 廃 棄 物 を 除 く 。 ）	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		
※事務処理欄			